

足元の自然ビンゴ

☆対象 小学3・4年生、3限目（クラス）、4限目（クラス）同じ事を2回行う。

☆テーマ 校庭の自然をよく見ることでいろんな自然があることを発見し校庭のありふれた自然を見直す。自然を大切に思う心を育てる。自然体験の中で思考力・表現力・コミュニケーション能力を育てる。

☆用意する準備物 探検バッグ 赤白帽 筆記用具、セロテープ (時間上段は3時限目、下段は4時限目)

	授業の流れ(1時間授業)	開始時間	備考
プ ロ グ ラ ム	●入場・挨拶、整列	10時30分 11時25分	担当 学校 5分
	●自己紹介（スクールインタープリター） 名前のフリップカードを全員作成持参のこと（ひらがなのルビを忘れずに）	10時35分 11時30分	SIP 全員 2分
	●導入説明 今日のタイトル紹介 （フリップカード①「足元の自然ビンゴ」） 説明 校庭の足元の自然を探します。 「どういう風にするか〇〇さんに聞いてみよう」とふる。	10時37分 11時32分	A 全員 4分
	●活動説明 （フリップカード③「活動のルール説明」「活動のルール説明 1. ビンゴゲームの説明 たて、横、斜め、見つけられたらビンゴ 2. 見つけるものは1、花（どんな色、どんな形）2、生き物（どんなもの？）3. いろいろな細い葉っぱ 4、いろいろな広い葉っぱ 5、（スペシャル）「すごい」と思うものを探そう。」 見本を見せる 「見つけたらおじさんたちに見せて」 説明 探し見つけたものはカードに貼る。 取れないもの、貼れないものは、絵や文字書いて書く。 以上の説明後、班分け、場所移動後、見つける活動に移る。時間・集合や範囲を指定する。	10時41分 11時36分	B 5分
	●移動・引率	10時46分 11時41分	各班全員 1分
	●活動開始（ビンゴカード配る・範囲確認） リーダーは、子ども達が見つけたものを聞き、すごいねとほめてあげよう。 単に「すごいね」というだけでなく、何がすごいのか指摘して気付きを共有しよう。「ここがすごいね」 自然体験の中で思考力・表現力・コミュニケーション能力を育てる。子どもの発見を尊重する・ほめる。理由を聞く。会話する。しゃがむ・目を見る。 回って声をかける。考え込んでいる子にはアドバイス。	10時47分 11時42分	各班全員 15分 見つけ8分
	●グループで見せ合う。聞かせあう。	10時55分 11時50分	分かち合い 7分
	●全体集合 担当者・声をかける。 集合場所に移動（全体）、整列	11時02分 11時57分	C 2分

<p>●分かち合いの説明 見つけたかどうかきくから、見つけた人は手を挙げてください。</p>	<p>1 1時04分 1 1時59分</p>	<p>D 1分</p>
<p>●分かち合い 全体で。スペシャルの「すごい」を見つけた人は手を挙げて。「どんなの?」 2～3人に聞いてみる。</p>	<p>1 1時05分 1 2時00分</p>	<p>E 5分</p>
<p>●まとめ 虫たちも、私たちもこの身近な自然の中で、食べて、棲んで、一生懸命生きている。生き物も人も一生懸命暮らしているこの自然を大切にしましょう。 (みんなは自然とお友達になれるかな?) まとめの横断幕フリップ</p>	<p>1 1時10分 1 2時05分</p>	<p>F 1分</p>
<p>●閉会 「じゃあこれで終わります。」</p>	<p>1 1時11分 1 2時06分</p>	<p>F 1分</p>
<p>●学校からの終わりの挨拶</p>	<p>1 1時12分 1 2時09分 合計45分</p>	<p>学校側 3分</p>